

匿名性を担保した学校評価回答

担当（ 教務係 ）

課題・・・「本校HPのツイッターが、ソフトテニス部とアーチェリー部しか掲載されていない」

検討結果

職員会(4/27)でツイッターの投稿の方法を周知し、上記2つの部以外に野球部やサッカー部も試合の様子を投稿しています。多くのクラブについて、情報発信できるようにしていきます。

担当（ 生徒指導 ）

課題・・・①校則を守っていない生徒が多い。(スマホの使用の仕方)

②校則を守っていない生徒が多い。(服装・頭髪)

検討結果

本来スマホや頭髪に関しては規則を設けず生徒の主体的な判断においてフリーにしたいところです。しかし、今現在、規制をせざるを得ない状況です。

① ②ともに定期的に啓発をしたり検査をしたいと思っています。

頭髪検査に関しては年度初め、夏季休業明け、年末年始休業明けに検査を実施しています。

担当（ 体育科 ）

課題・・・体育の授業では勝ち負けのみで成績を付けられる。授業でどれだけ頑張っても、上手くなければ成績は低い。私は…

検討結果

体育の授業では記録や勝敗では成績は付けていません。

どれだけ動き汗を流し周りとは協力し合いながら授業を受けているかを見ています。

主体的に動き、安全な状況で授業を行うことを心がけてください。

担当（ 英語科 ）

課題・・・朝の講習が始まったそうですが、英語の基礎を受けたら、英検の勉強だったそうで、生徒に合わせた問題を何種類か揃えたり、もう少しきめ細かい指導をしてほしいと思いました。

検討結果

元々英検の受験を目的として、基礎講座・発展講座の二つの講座を用意して開始した補習です。

英検の学習をすることによって、英検対策のみでなく総合的な英語力を養うことができます。

尚、募集の要項には「英検を受験しない生徒も英検の学習に取り組むことで、共通テスト対策にもつながります。両講座とも英検後は教材を変えて、文法基礎力・速読力の養成を図ります。」と記述があります。

担当（ 進路指導係 ）

【生徒】

①専門学校希望者の生徒へのサポートが少なく、とても困ったので来年から改善してほしい。

—今年度より、2学年に専門学校・公務員・就職のガイダンスを行っています。そ今年度は、看護医療系以外の専修学校・各種学校の違いや認可校・無認可校の違い、学校選びのポイント

などを説明しました。専門学校は自由度の高い学校なので、同じ分野でも授業時間やカリキュラムが学校ごとに異なったりするため、学校選びが大切なことも伝えました。就職実績も学校によって過去5年間と幅があったり、企業名のみで雇用形態や具体的な職種等を発表していないところもあったりします。ぜひ、ご家庭でもオープンキャンパス等に同席していただき、納得のいくまで確認していただきたいと思います。専門学校は目的が明確な人にとってはとても効率よく技術を学ぶことのできる学校です。しかし、年数が2年間と短く、実際は1年後半から就職活動が始まることもあるため高校のうちに「働く」意識をしっかりと持っていることが大切であることも伝えました。

【保護者】

①国公立大合格に向けての取り組みをもっと強化してほしいです。

一各学年で早朝・放課後等を利用して補充授業を行っていますが、国公立大学は5教科7科目を原則としますので、1年の内から「授業で力をつける」意識が大切です。学習習慣も生活習慣の一部ですので、クラブ等があっても授業の予習・復習を怠らないという姿勢が大切です。また、二次試験ではその学科に必須の教科・科目についてより深い力を求められます。早い時期から、自分をコントロールして学習を進めると、「自分流の（力がつく）学習スタイル」も早く見付き、定着も早くなります。受験勉強は決して特殊なものではなく、1年次からの積み重ねが受験に向かう力につながります。3年になって、それまでの不足を取り戻すだけでは国公立大の入試においては手遅れになってしまいます。各学年の進路計画や補習実施予定については、年度当初に示していますので、積極的に参加して有効に活用してください。

②授業計画において進学向けの3年間のスケジュールがあまり考慮されていない気がします。また、授業内容も教科によっては模試のレベルに達していないものもありそうです。

一進路指導係としましては、基礎学力が受験のキーになると考えています。そのため2年生までの模擬試験を「授業の取り組み状況の定点観測」と位置づけ、3年4月当初の学習状況調査で国語・英語・数学の定着度を確認して、入試に向けて指導しています。また、模試ごとに生徒一人一人に目標を設定し、具体的にどのような準備をするかも指導しています。さらに各学年・教科で模擬試験の結果を学年会や教科内の担当で検討しています。また、その分析について学年通信等でも発信しています。大学入試の学力は短期間では身につけませんので、生徒の皆さんには改めて、「予習→授業→復習」の黄金のサイクル作りを呼び掛けていきたいと思います。

③進学組だけを重視して、就職組へのフォローが全然行われていない。自分で調べて勝手にやれ、とはどういう指導なのか。

一進学希望者が多いため、校内の行事も進学者に向けたものが多くなる傾向にあります。就職に関しては今年度より2年の1月にガイダンスを行っています。民間企業の求人票の見方や公務員の職種・官庁訪問等の指導は希望者に対してこれまでも行ってきています。特に、1年の内から積極的に進路指導室に来て、公務員の情報を収集していた素晴らしい生徒もいました。ご指摘のような場面は残念なことで、申し訳なく思います。今後は丁寧な情報発信を心掛けたいと思います。